

さくら



令和6年4月22日(月)

断捨離



長年、バイクに乗ってきました。昔は、さまざまな追加パーツをつけて、こてこての改造マシンがカッコいいと思っていました。何かを「足す」ことに価値観を感じていたのです。

ある時、バイク好きで有名な俳優さんが、雑誌で次のように語っていました。「(バイクから) unnecessaryなものをそぎ落としていくと、究極の美しさと快適さが得られる」

この言葉に感銘を受けました。「捨てる」ことによって得られる価値観です。それ以降乗ってきたバイクには、シンプルさを追求してきました。

ところで、人の生き方にも同様のことが言えるのではないのでしょうか。

自分の身の回りで考えてみましょう。あれも欲しい、これも欲しいと買った物がたくさんありませんか。それは、本当に必要なものでしょうか。生活になくってはならないものでしょうか。unnecessaryなものを思い切って捨ててみる。あるいは、それを必要とする人に差しあげる。そうすることで、快適な居住空間が生まれます。学習場所であれば、勉強に集中できます。

次に、心の中にあるunnecessaryなものも捨てることができればいいですね。意地悪な心、執着(しゅうちゃく)心、怒りの気持ち、羨(うらや)む心、嫉妬(しっと)心など。人間ですから、このような感情を完全に捨てることなどできません。しかし、このような感情を抱いたとき、決してそれはいいものではないと自覚したいものです。そうすることで、その感情をすこしでも抑える(捨てる)ことができるかもしれません。

このように、実生活からも、心からもunnecessaryなものを捨てていく。そうして、断捨離(だんしゃり)した後に残るものは何でしょうか。もしかしたら、それは「本当の豊かさ」かもしれません。

断捨離：過去に流行語となった。不要品を整理すること。その思想はヨガからきている。身辺整理とともに心を整える考え方。

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

